




長建第23号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

千葉県長生郡長柄町  
町長 成嶋 尚武



中期的な計画の作成にあたっての意見について (提出)

平成19年4月2日付け国道企第114号にて依頼のありました標記の件につきまして下記のとおり提出いたします。

記

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- 高規格道路である圏央道の早期開通と、(仮称)長生グリーンライン・(仮称)白子バイパス等の幹線アクセス道路の早期開通及びインターチェンジ周辺のアクセス道路(県道)の整備
- 高齢者・通学者の交通安全対策のため、利用者の多い幹線道路(県道)の歩道の早期設置
- 東京湾アクアラインの利用率向上のため、通行料金を値下げし、利用台数を増やし(薄利多売)、地域の活性化を図る

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ETCの利用促進及びスマートインターチェンジの設置

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- 道路特定財源の一般財源化について

本町を含めた農村部の交通手段は電車もなく、利用者の減により路線バスも大幅に減便となり、やむなく自動車に頼わざるを得ない現状であるため(一家に2~3台平均所有)この財源は都市部に比して圧倒的に地方が多く負担している現状であるが、その地方の道路整備がまだまだ未完の状況で一部を一般財源化することに不公平感を覚える。

- 圏央道の(主)千葉・茂原線に追加インターチェンジ(スマートインターチェン

ジ)の設置を強く要望する。

- ・追加インター要望地から約 250mの至近距離に今秋、脳の重症患者に対する高度医療を目的とした‘ゴットハンド’として世界的に著名な「福島孝徳記念脳脊髄クリニック」(屋上ヘリポート付)が開院し、県内外から難易な脳腫瘍患者の搬送及び事故等の救急患者の搬送が予想される。
- ・長柄ショッピングリゾート及び町グリーンツーリズムの推進により近年都市と農村の交流が活発となり都市からの観光客が急増している。(農業体験・観光農園・直売所・各種イベント等)

○町管理橋梁の塗装等の維持管理に莫大な予算が必要である為(2橋で約 5,000万円)補助制度を創設願いたい。